

くすいのはなし

・抗がん剤の副作用と対策



薬剤師
碓井 崇人

胃がんの治療

手術療法

放射線療法

薬物療法

別の臓器に転移している場合など、**手術で治すことが難しい場合**、または**再発したとき**に行います。

手術後の再発を抑えたり、手術前にがん細胞を小さくするために行うこともあります。

胃がんの薬物療法に用いる薬

さいぼうしょうがいせい

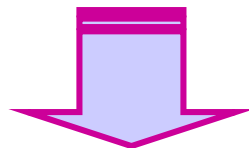
◆ 細胞障害性の抗がん剤

ぶんしひょうてきちりょうやく

◇ 分子標的治療薬

◆ 細胞障害性の抗がん剤

がん化した細胞の特徴である
活発に増殖する細胞にはたらく
成長、分裂して増えるのを妨げる



腫瘍の縮小 生存期間の延長
増殖や転移を妨げる 症状の緩和
効果を発揮

例) シスプラチン、ティーエスワンなど

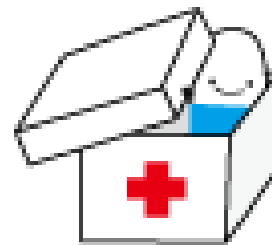
◆ 分子標的治療薬

がん細胞の増殖や転移に
かかわる分子を標的として攻撃する

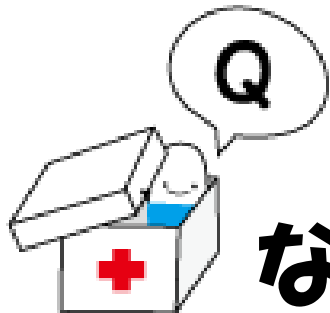


正常な細胞への影響が少ない

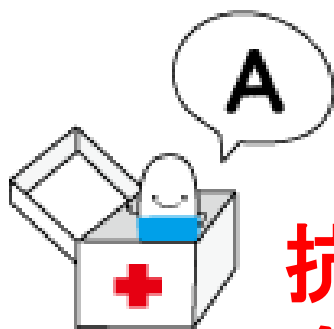
例) ハーセプチン、サイラムザなど



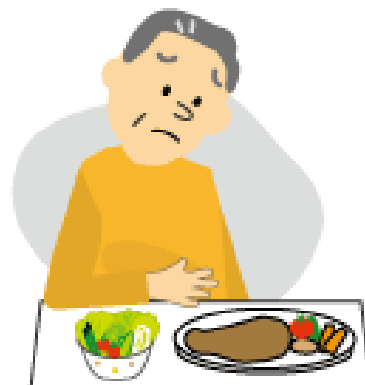
抗がん剤の副作用



なぜ副作用がおこるのでしょうか？



**抗がん剤はがん細胞だけでなく、
全身の正常な細胞も攻撃してしまいます
そのため、さまざまな症状が副作用として
現れます**



活発に増殖する正常な細胞へ影響

消化管

骨髄

毛根

副作用

過敏症
吐き気
嘔吐

嘔吐
食欲不振
だるさ

口内炎
下痢
骨髄抑制
感染症

貧血
脱毛
皮膚のしみ
手足のしびれ

治療

直後

2.3日後

1~2週間後

1ヶ月~数ヶ月

しじりょうほう 支持療法 の進歩

『支持療法』とは、
薬物治療（化学療法）による副作用を
防いだり、起こってしまった副作用を
軽減するための治療法

- ・はき気予防
- ・過敏症状の予防
- ・輸液（腎臓の負担を少なく） など

安全に継続することが重要

抗がん剤は
副作用の発現する確率が高い！



副作用をコントロールし、
治療を続けることが大事！

現在では、副作用対策の進歩に伴い
副作用の予防、症状の緩和が可能に！
外来で通院しながらの治療も可能に！

代表的な副作用と対策

●吐き気、嘔吐 治療直後～数日後

- ・吐き気は「ムカムカすること」
- ・嘔吐は「吐いてしまうこと」



- ・抗がん剤の種類、個人差により程度が異なる
- ・急性、遅発性、予測性の3種類存在する

代表的な副作用と対策

- ・使用する抗がん剤や吐き気の種類に合わせて吐き気止めの投与を行う
- ・吐き気があるときは冷たい水でのうがいを試す

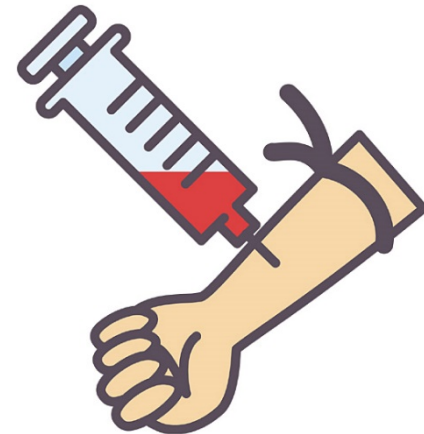
食事面での工夫

- ・食べたいものを食べたいときに少しずつ食べる
- ・脂っこいものや香りの強い食べ物はさける
- ・めん類やゼリーなどのごしごしがよいものは食べやすい

代表的な副作用と対策

● 骨髄抑制 1～2週間後

- ・骨髄がダメージを受けて、白血球や赤血球、血小板といった血液の成分が減少すること
- ・早い段階では自覚症状がない場合が多いため血液検査によって調べる



代表的な副作用と対策

感染対策

- ・こまめに手洗い、うがいを行う
- ・人ごみをなるべく避け、外出時などはマスクを着用する
- ・生ものの摂取を控える
- ・ひげそりの時は電気シェーバーを使用する

代表的な副作用と対策

●口内炎 1～2週間後

- ・最初は違和感だけ、徐々に口の中がヒリヒリしたり食べ物がしみたりしてくる
- ・口の中だけでなく口角や唇、舌に出てくることもある
- ・痛みがひどくなると食事がとれなくなる



代表的な副作用と対策

出現前

- ・治療前から虫歯や歯周病などのチェック
- ・こまめにうがいを行う
- ・歯磨きのときはやわらかい歯ブラシを使う
- ・かたいものや熱いもの、刺激の強い食べ物は控える

出現後

- ・炎症を抑えるうがい薬やステロイドを塗布

代表的な副作用と対策

● 下痢、便秘 1～2週間後

・下痢は抗がん剤により腸の動きが活発になったり、消化管の粘膜がダメージを受けることにより起こる

・便秘は抗がん剤により腸の動きが弱められたり、食事量の変化により起こる

吐き気止めにより便秘が起こることも



代表的な副作用と対策

下痢の場合

- ・脱水にならないよう十分な水分補給を行う
- ・冷たい飲み物や刺激の強い食べ物を避け、消化によいものを

便秘の場合

- ・水分を十分にとり、食物繊維を多めにとる
- ・無理のない範囲でウォーキングなど運動を行う
- ・下剤を上手に活用する

代表的な副作用と対策

●脱毛 1ヶ月～数ヶ月後

- ・抗がん剤により毛をつくる細胞がダメージを受け脱毛がおこる
- ・髪の毛が細胞の分裂が活発なため一番影響を受けやすい
- ・抗がん剤治療が終了すれば、3～6ヶ月程度で新しい毛が生えてきます



代表的な副作用と対策

- ・髪の毛を**短く**切っておく
- ・パーマ、ヘアカラー、育毛剤はさける
- ・かつら(ウィッグ)や帽子、バンダナなどを活用する
- ・洗髪の際は弱酸性のシャンプーなど**刺激の少ないもの**を使用し、やさしくゆっくり洗う

まとめ

- 抗がん剤の種類、個人差により起こってくる副作用は様々です。
- 副作用を予防したり軽減するための治療も進歩しています。
- 副作用をうまくコントロールし治療を続けていくためにも、副作用を理解しておくことが重要です。